

「がん」、そして「仕事」と「お金」  
～ 情報を得る手引き ～



がんと「仕事」 ～ 資料編 ～

※「お金」の内容を含む場合は、

(→お金) で示します。

■ 『がん経験者のための就活ブック』

(HOPEプロジェクトほか編/合同出版/2015年/資料番号:323343277)

第1章 働くまで/第2章 就活をはじめよう/第3章 就活テクニック/第4章 AYA世代の就活/第5章 働きはじめたら

■ 『がんと一緒に働こう』(CSRプロジェクト編/合同出版/2010年/321635757)

第1章 がん経験者が知っておきたい働く権利「悩む前に知ろう」/第2章 企業側の考え方はこう「遠慮しないで伝えよう」/第3章 職場でのコミュニケーション「一人で頑張りすぎないこと」/第4章 保険や社会保障制度はこう使う「お金は大事だよ」(→お金)/第5章 体をいたわりながら働こう「無理はしないで」/第6章 ワーキンググッズ&生活術を大公開「みんなスゴイ」

■ 『企業のためのがん就労支援マニュアル 病気になっても働き続けることができる職場づくり』

(高橋郁ほか編著/労働調査会/2016年/323396499)

第1部 総論/第2部 円滑に対応するための職場づくり/第3部 がん就労支援の実際

■ 『がんは働きながら治す！ 一億総活躍社会のためのがん教育』

(中川恵一ほか著/労働調査会/2017年/323485425)

第1部 働く人とがん(→お金)/第2部 がんを知る/第3部 座談会「みんな働かないともたない社会」

■ 『がん体験者との対話から始まる就労支援 看護師とがん相談支援センターの事例から』

(小迫富美恵ほか編/日本看護協会出版会/2017年/323490219)

序章 がん体験者の語りと就労支援のつながり/1章 がん体験者の就労支援の現状/2章 看護師に求められる就労支援とは/3章 就労支援に必要な知識(→お金)/4章 がん相談支援センターの就労相談と連携/5章 がんの局面ごとの支援のポイント/6章 小児がん経験者の就労支援/7章 事例から見る がん体験者の就労支援

■ 『がん患者さんの心と体の悩み解決ガイド』

(日経メディカル編/日経BP社/2007年/321846941)

序章 患者さんを支える“3つの仕組み”/第1章 治療を受ける前の心得/第2章 治療中・治療後の一般的な悩み/第3章 不安や恐怖について/第4章 生き方・生きる意味について/第5章 仕事や治療費などお金のこと(→お金)/第6章 家族との関係/第7章 症状・副作用・後遺症への対応

■ 『がん患者の社労士が書いた自分らしい「がん」とのつきあい方』

(富永博著/ウイング出版部/2016年/326997822)

1章 がんに関する国の動きと医療費の削減について/2章 がんについて知ってほしいこと/3章 社労士とは/4章 がんに関わる専門職/5章 誰に(どこに)相談すればいいの?/6章 経済的な負担(お金)について(→お金)/7章 がん治療と仕事の両立について/8章 がん患者から見た良い医師とは/9章 がん患者への接し方/他

■ 『がん患者の「知りたい」がわかる本』

(青儀健二郎ほか監修/阿南節子ほか編/じほう/2016年/323389668)

1 患者に正しく説明したい「これから」のこと/2 患者の知りたい生活上のあれこれ → VII 仕事や経済的問題に関するギモン 治療費と収入の問題(→お金)/3 患者に伝えたいトピックス

## ■ 『がんの治療と暮らしのサポート実践ガイド』

(キャンサーリボンス編/エス・エム・エス/2017年/323480483)

I 暮らしをサポートする/II 暮らしのシーン別にサポートする → F.がん治療と働くこと/III 治療と暮らしをつなぐ/IV 役立つ資源を知る・活用する (→お金) /V ところをみる、ところを支える

## ■ 『がん対策に関する世論調査 平成28年11月調査』

(内閣府大臣官房政府広報室編/[2016年]/327358818)

I 調査の概要/II 調査結果の概要 → 1 がんに対する印象・認識について 2 がんの予防・早期発見について 3 がんの治療法及び病院等に関する情報源について 4 緩和ケアについて 5 がん患者と社会のつながりについて → (2) 仕事と治療等の両立について (3) 両立に必要な取り組み 6 がん登録について 7 がん対策に関する政府への要望について/ 他

## ■ 『はじめよう！がんの家族教室』(小森康永編/日本評論社/2015年/323343541)

第1章 なぜ家族はがんについて勉強するのか?/第2章 がんとは何か?—症状、治療、経過を中心に/第3章 緩和ケアには何ができるのか?/第4章 がんの人の生活をどう支援し、社会資源をどう利用するか? (→お金) /第5章 がんを子どもにいかにか伝えるか?/第6章 ホスピス・在宅ケアについて何を知っておくべきか?/ 他

## ■ 『もしも、がんが再発したら』

(国立がん研究センターがん対策情報センター編著/英治出版/2012年/326768629)

■がんの再発、私たちの体験 ■再発、転移とは ■再発がんを治療する ■痛みについて ■体や心の不調に対処する ■臨床試験に参加するには ■未承認薬について ■補完代替療法に興味を持ったときには ■治療法をどう選ぶか ■あなたの心に起こること ■生きる意味を考えること ■あなたを支えるいろいろなこと (→お金) ■家族およびあなたを支えてくれる方へ/用語集 (→お金)

## ■ 『わたしも、がんでした。』

(国立がん研究センターがん対策情報センター編/日経BP社/2013年/321955619)

第1章 本人編「悩んでいるのは自分だけじゃない」/第2章 家族編「がんは“生きる”と向き合うプロジェクトです」/第3章 病院編1「がんと共に生きる、働く時代がやってきます」/第4章 病院編2「継続して働ける環境づくりが進んでいます」/第5章 職場編「一人で抱えない。社内で相談できる雰囲気大切です」/第6章 地域編「支え合う仲間がいれば、気持ち明るくなる」/第7章 まとめ編座談会「がんと共に働くために、足りないこと」

## ■ 『働く女性のためのがん入院・治療生活便利帳』(岩井ますみ著/講談社/2015年/323331512)

1 がん告知から入院まで (→お金) /2 いざ入院/3 退院後の治療、主治医との向き合い方/4 通院・外出時のヒント/5 外見の力!—おしゃれのヒント/6 家で闘病するためのヒント/7 心の持ちよう人間関係/8 情報の海におぼれないために/9 見守る人々/10 治療の終わりと社会復帰のためのメンタルケア

## ■ 『はじめての乳がん 働くあなたが聞きたい本音Q&A83』

(土屋美貴著/亜紀書房/2014年/323257238)

第1章 乳がん?それとも… 診断が出るまでの“困った” (→お金) /第2章 具体的な治療への道 治療方法を確定するまでの“困った” (→お金) /第3章 治療中の“困った” ~通院編~/第4章 治療中の“困った” ~入院・手術編~/ (→お金) /第5章 病人でなく健康でもなく どちらつかずの経過観察中の“困った” (→お金) /第6章 乳がんはこわくない!

## ■ 『診断されたらはじめに見る がんと仕事のQ&A 第2版』

(独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター編/2014年/327366019)

1章 診断から復職まで/2章 復職後の働き方/3章 新しい職場への応募/4章 お金と健康保険 (→お金) /5章 家事や子育て

## ■ 『身近な人ががんになったとき 地域・職場・学校で役立つがんの知識と情報』 <配布用>

(独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター編/2012年)

1 がんについて知っていただきたいこと/2 患者さんご家族の心と体に起こること/3 身近なあなたに心掛けていただきたいこと/4 職場の人ががんになったとき/5 子どもががんになったとき

## ■ 『がんと就労白書 2016-2017』(国立がん研究センター編/2017年/327366415)

「がんと就労」両立事例1~7/「がんと就労」両立事例・企業レポートのまとめ/ 他

- 『週刊ダイヤモンド 2017年5月13日号』(ダイヤモンド社) <雑誌・閲覧用>  
p26-71 <特集>「がんを生きる 仕事 家庭 家計 治療」 → 1 働き盛りのがんと仕事/2 企業の制度 大調査 /3 がん家族のリアル (→お金) /4 がん治療の最前線
- 『がんサポート 2015年2月』(エビデンス社) <雑誌・閲覧用>  
p92-95 「「がんと共に働く」をライフワークに “働くがん患者” になるための3つのポイントを提言 仕事を続ける肺がん患者さんの取り組み」
- 『公衆衛生 2013年12月』(医学書院) <雑誌・閲覧用>  
p987-991 「がん患者の就労支援 わが国の現状と今後の課題」(高橋郁)
- 『公衆衛生 2017年3月』(医学書院) <雑誌・閲覧用>  
p247-252 「がん患者の就労支援・相談体制の現状と課題 患者・家族の立場から」(本田麻由美)



## がんと「仕事」～インターネット編～

- がん患者の就労継続及び職場復帰に資する研究 (平成29年度厚生労働省科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業)  
[http://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/05survivor/05survivor\\_01.html](http://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/05survivor/05survivor_01.html)
- 働く世代の方へ (国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策情報センター)  
<http://ganjoho.jp/public/support/work/index.html>
- がんと共に働く 知る・伝える・動き出す (日経BP社)  
[http://special.nikkeibp.co.jp/atclh/work\\_with\\_cancer/index.html](http://special.nikkeibp.co.jp/atclh/work_with_cancer/index.html)
- 治療と職場生活の両立について (厚生労働省)  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267.html>
- がん情報ナビ〔分類〕社会生活 (静岡県立静岡がんセンター)  
[https://www.scchr.jp/navi\\_result.html?category\[\]=c21](https://www.scchr.jp/navi_result.html?category[]=c21)
- がん情報ナビ〔分類〕仕事への影響 (静岡県立静岡がんセンター)  
[https://www.scchr.jp/navi\\_result.html?category\[\]=c37](https://www.scchr.jp/navi_result.html?category[]=c37)



## がんと「お金」～資料編～

※「仕事」の内容を含む場合は、  
(→仕事) で示します。

- 『最高のがん治療を受ける方法 病院選びから、三大治療、治療費まで』  
(奥仲哲弥著/エクスナレッジ/2013年/321916066)  
第一章 いい病院選びは医師を選ぶことから始まる/第二章 がん治療は「標準治療」が基本と心得る/第三章 進歩する抗がん剤治療/第四章 私のがんは治るのでしょうか?/第五章 がんとお金の話
- 『がんになったら手にとるガイド』  
(国立がん研究センターがん対策情報センター編著/学研メディカル秀潤社/322028069)  
第1部 “がん”と言われたとき/第2部 がんと向き合う—自分らしい向き合い方とあなたを支える仕組み → 第1章 自分らしい向き合い方を考える (→仕事) 第2章 経済的負担と支援について/第3部 がんを知る → 第1章 がんのことで知っておくこと 第2章 療養生活のためのヒント 第3章 用語の解説

- 『**がんで困ったときに開く本 2016**』(朝日新聞出版/2015年/323349779)  
(巻頭) よくわかるがんの治療法とかかるお金 治療編・お金編/1章 がんが心配で困った/2章 告知されて困った/3章 病院選びで困った/4章 セカンドオピニオンで困った/5章 検診・検査で困った/6章 医師との関係で困った/7章 治療方針で困った/8章 入院で困った/9章 手術で困った/10章 抗がん剤で困った/11章 放射線治療で困った/12章 緩和ケアで困った/13章 **お金で困った**/14章 退院を迫られて困った/15章 治療後の生活・仕事で困った (→仕事)/16章 再発・転移で困った/17章 終末期で困った/18章 家族が困った/19章 とにかく困った
- 『**国立がん研究センターのがんとお金の本**』  
(片井均ほか監修/小学館クリエイティブ/2016年/323477273)  
第1章 がんの検査と治療について知る/第2章 公的医療費助成制度を活用しよう/第3章 収入や生活の不安を支える公的制度など
- 『**親ががんになったら読む本**』(山口健著/主婦の友社/2016年/323375196)  
第1章 がんになった親の気持ちを知る/第2章 親とのコミュニケーションを上手にとる/第3章 がんの診療プロセス/第4章 高齢者のがん治療とは/第5章 医師・スタッフとのコミュニケーション/第6章 **がん治療にかかる医療費**/第7章 家族ができること～治療に伴う注意事項
- 『**安心してがんと闘うために知っておきたいお金の実際**』  
(内田茂樹著/主婦の友インフォス情報社/2015年/323345637)  
序章 がんの現状/第1章 実例で見るがんとお金の実際/第2章 がんになるとどんなリスクがあるのか (→仕事)/第3章 実際にかかる費用の内訳/第4章 どうすれば治療費を抑えることができるのか?/第5章 公的保障を使い倒す/第6章 生命保険・先進医療の実際
- 『**がん患者、お金との闘い**』(札幌テレビ放送取材班著/岩波書店/2010年/321602252)  
1章 二人に一人ががんになる時代/2章 言い出せなかったお金の話/3章 誰が医療費を負担するのか/4章 命をとるか、生活をとるか
- 『**がんとお金の本**』(黒田尚子著/ピーケイシー/2011年/321840266)  
第1章 突然「がん」を告知されたら…/第2章 「がん」にかかるお金はどのくらい?/第3章 「がん」にかかるお金で困ったら…(公的制度編)/第4章 「がん」にかかるお金で困ったら…(自助努力編)/第5章 「がん」とライフプラン
- 『**週刊東洋経済 2016年6月4日号**』(東洋経済新報社) <雑誌・閲覧用>  
p40-89 <特集>「働き盛りのためのがん読本 がんとお金」  
→ 1 がんの家計 (→仕事)/2 がんの仕事 (→仕事)/3 がんの情報



## がんと「お金」～インターネット編～

- **お金と生活の支援** (国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策情報センター)  
<http://ganjoho.jp/public/support/backup/index.html>
- **患者、家族、医療従事者が無料で使える がん制度ドック** (NPO 法人がんと暮らしを考える会)  
<http://www.ganseido.com/>
- **がん治療に関わるお金のはなし** (中外製薬株式会社)  
<https://www.gan-guide.jp/popup/money/index.html>
- **がん情報ナビ〔分類〕 経済的な問題** (静岡県立静岡がんセンター)  
[https://www.socchr.jp/navi\\_result.html?category\[\]=c36](https://www.socchr.jp/navi_result.html?category[]=c36)